



テーマ
Theme

びわ湖のことをもっと知ろう

学校名
School name

栗東市立治田東小学校(5年生)

講師等
Lecturer etc.

滋賀県地球温暖化防止活動推進センター

実施日
Date

平成28年6月3日

教科等
Subject

総合的な学習の時間

授業
Class



「びわ湖フローティングスクール」の事前学習として、滋賀県地球温暖化防止活動推進センターの方4名をお迎えし、びわ湖の現状について3つのテーマで学習を深めました。

まず、「地球温暖化」とびわ湖の関係について話をさせていただきました。冬になるとびわ湖の水温が低温で均一になります。すると水の循環が始まりびわ湖全体に酸素がいきわたりびわ湖の水が浄化されます。これを「びわ湖の深呼吸」と言うそうです。ところが近年の地球温暖化により冬でもなかなか水温が下がらず、水の循環が起こりにくいのだそうです。普段よく耳にする「地球温暖化」がびわ湖の水にも影響をおよぼしていることについて理解を深めることができました。

次に、びわ湖の地形について学習しました。びわ湖の面積は滋賀県全体の約6分の1であること、びわ湖は南湖と北湖に分けられること、約400もの川がびわ湖に注いでいることなどが話題に上りました。また、32個のボックスを次々と動かしながら、びわ湖の生き物の写真が提示され、児童は知っていることを活発に話しながら学習が進んでいきました。

最後にびわ湖の現状と課題について話をされました。特にびわ湖周辺の開発によりヨシ原や内湖が減り、それに伴い魚が随分減ったこと、また、近年はカワウや外来魚の影響で以前に比べ漁獲量が減っていることなどについてふれ、「あおいびわ湖を残すのはみんなの役目。」「フローティングスクールでたくさんのことを学んでください。」と願いを託されました。

感想
Impression

児童の感想 Impression from Children

- ・「びわ湖の深呼吸」に驚きました。深呼吸してびわ湖の主のビワマスが冬は浅いところにも上がってくるのがわかりました。
- ・びわ湖の魚を守りたい、そして、びわ湖のことがもっと知りたいと思いました。
- ・フローティングスクールでたくさんのプランクトンを見たいなと思いました。

学校より Impression from school

事前の打合せを丁寧に行っていただいたので、児童の実態や担任の思いを把握していただくことができました。それらを踏まえて授業を構成していただきありがたく思いました。

授業の導入で興味が引き付けられ、児童は意欲的な姿勢でした。授業はよく練られた内容で、テーマごとに担当を交代しながら話を進めていただきました。

講師より Impression from lecturer

事前打合せで、児童の関心事や希望の内容など具体的に示していただけたため、ご要望に沿った内容にアレンジしプログラムを作成することができました。

授業は、教材「〇〇ボックス」の各面に展開される美しい写真とびわ湖の豊かな生態系の説明の中に、地球温暖化によるびわ湖への影響や「うみのこ」で観察できるプランクトンやカワウの話、湖岸の風景にも目を向けてほしいことなどを盛り込み、目前に控えたフローティングスクールの事前学習となるようにストーリーを作りました。

授業では講師の声かけに素直に反応し、参加型の楽しい学習になりました。